

# サイクルエイド事業

●協働先 NGO/NPO

(社) アジア協会アジア友の会

## 実施地域

フィリピン、タイ、カンボジア、  
スリランカ

## 事業実施期間

1997年～継続中

## 協力形態

事業協力

## 実施内容

放置自転車を府内市町村の協力のもと修理、再生し、海外の子どもたちに贈る事業である。

(2010年度自転車提供市町村 堺市、泉佐野市、八尾市、松原市、阪南市、  
泉大津市、高石市、寝屋川市)

## 事業目的／背景

大阪府内の放置自転車の数は、年間50万台に上るともいわれ、そのうち約半数は引き取り手がないために各市町村で処分されており、大きな社会問題、環境問題となっている。一方、アジアやアフリカでは学校の数がないため、長時間歩いて学校に通ったり、遠すぎるために通学できない子どもたちが数多くいる。

こうした子どもたちに自転車を贈ることで、教育環境の向上などに寄与するとともに、国際交流の絆を深めることを、この事業の目的としている。また放置自転車を府内市町村の協力のもと修理、再生し、リデュース・リユース・リサイクルの好循環によって、大阪府内の環境負荷を軽減し、資源循環型社会に向けて地球環境に優しい自転車の活用を促進することを、目指している。



### 協働のきっかけ

本事業は1997年に大阪府が中心となって開始したが、社団法人アジア協会アジア友の会のネットワークを活用して、より効果的に事業を実施していくため、2005年度より、同法人が事務局となり、事業を実施している。府・市町村や自転車関係団体等でサイクル・エイド支援会議を設置し、事業を円滑に進めていくようサポートしている。

### 役割分担

#### 自治体側：

- ・ 府下市町村へ自転車提供への働きかけ
- ・ 自転車のメンテナンス
- ・ 自転車の保管

#### NGO／NPO側：

- ・ 自転車搬送手続き
- ・ 自転車受入れ側との連絡調整
- ・ 現地への搬送費の負担

### 協働によるメリット等

#### メリット：

アジア協会のネットワークを生かして、自転車の必要性の高い地域に優先的に提供が可能となった。

### 協働する上で配慮した点

サイクルエイド事業のPR活動や募金活動等、事業実施に必要な活動には、職員も出来るだけ協力する。

### 事業実施までの問題とその対応

1回のコンテナ搬送について、約180台の自転車が搬送できるため、自転車の数が集まらない場合は、費用がかかるため次回分と併せて搬送することになる。

### 事業評価／今後の展望

自転車送付先である各国からは、貴重な移動手段として喜ばれている一方で、提供できる放置自転車の数が減少しており、アジア各国が希望する台数を確保するのが難しくなってきているため、協力の継続を市町村へ働き

かける必要がある。また、搬送費も高く資金不足のため、事業費について考慮しなければならない。



フィリピン スール村 村人

### (社)アジア協会アジア友の会

1979年設立。アジア18ヶ国50の提携団体と理解と協力と連帯のもと、安全な飲料水供給のほか、植林、教育、生活向上等の様々な自立開発事業、国際交流活動の推進、国際理解教育、また地球の自然環境保全活動等を展開。